

施策評価シート【分野別施策】

施策名		関係部					
2-⑨	日常生活の安心・安全を高める	防災危機管理部、市民部、まちづくり政策部					
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31年度
			27年度	28年度	29年度	30年度	
窃盗犯の発生件数 (年間)	件	981	986	893	794		880
交通事故発生件数 (年間)	件	1,265	1,078	1,060	922		970
消費生活相談において消費者自らが相手方と交渉できるよう助言した件数の割合	%	75	77	81	85		82
関連事業							
○防犯対策推進事業○防犯設備整備事業○交通安全啓発推進事業○安全で豊かな消費生活推進事業							
決算額							
	28年度	29年度	30年度	31年度			
事業費(千円)	83,917	95,589					
執行率(%)	97.45	97.09					
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
<p>●平塚市防犯協会や警察と連携し、地域安全運動、防犯キャンペーン、年末防犯パトロールを13回実施したほか、「地域見守り花植え活動」を平塚市防犯協会24地区で実施することにより、防犯意識の向上を図りました。また、自治会等に対し防犯カメラ設置への補助(10台分)を実施することにより、地域における防犯設備の整備・充実を図ることで、犯罪が起きにくい地域づくりを進めました。</p> <p>平成29年の窃盗犯発生件数は、前年比で99件(11.1%)減少しました。</p> <p>●交通安全対策として、幼時から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした交通安全教室を年間で222回、関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンを年間で27回実施し、交通安全意識の啓発を図ったことにより、交通事故発生件数は減少傾向にあります。</p> <p>●広報媒体等を活用して消費生活に関する様々な情報を提供した他、出前講座等を29回開催して普及啓発を図るとともに、消費者トラブル救済に向けた消費生活相談を実施することで、安全な消費生活を推進しました。</p>							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
<p>●窃盗犯や県内で増加傾向にある特殊詐欺に関する防犯活動を継続するとともに、犯罪抑止への効果が期待できる防犯設備を整備・充実する必要があります。</p> <p>●交通事故発生件数において、高い割合を占めている高齢者や自転車の事故について、重点的に対応する必要があります。</p> <p>●消費者の知識・経験不足につけ込む様々な悪質商法が発生し、年齢を問わず消費者被害が拡大しているため、消費者被害未然防止を図る必要があります。また、多様化、複雑化する消費生活相談に的確に対応するために、消費生活相談員の対応力向上を図る必要があります。</p>	<p>●市民の防犯意識の高揚や地域防犯力の向上を図るため、防犯協会や警察等と連携し、防犯活動を展開します。また、防犯街路灯の設置を進めるとともに、自治会等による防犯カメラの設置を支援します。</p> <p>●今後も継続して地域や関係団体と連携した各種交通安全キャンペーンや、幼児から高齢者まで幅広い年齢層を対象とした交通安全教室の開催を通じ、交通安全意識の向上を図ります。</p> <p>●消費者被害未然防止のため、広報媒体等を活用した様々な情報提供や消費者啓発講座等を開催するとともに、新たに消費者被害拡大が懸念される学生等若年層向け講座の活用を働きかけます。また、消費生活相談員の研修機会を確保し、資質の向上を図ります。</p>